



きぼうのいずみ

蘇原第二小学校
学校だより
第4号
令和6年7月19日

第Ⅰ期（前期前半）のたからもの

第Ⅰ期が終了しました。4月から今日までの約3ヶ月半、子どもたちは学習や生活において、自分の目標に向かって頑張り、それぞれのたからものを残すことができました。

学習においては、特に「聞くこと」や「話すこと」を中心に取り組んできました。友達の意見を聞いた後、自分の考えと同じところや似ているところ、また、違うところはどこかを発言することで学習は深まっています。学校では、学年の発達段階に応じて、そのような「つなぎ発言」ができるよう指導支援を行ってきました。1年生の子どもたちも入学して3ヶ月半の間で、聞き方や話し方が上手になりました。

生活については、「あいさつ」や「ボランティア」、「友達の良さ見つけ」に頑張っており、成果を上げました。地域での挨拶はまだ不十分などありますが、学校内では、友達、先生、訪問客や地域の方など自分から挨拶できる子どもたちがたくさん居ます。この姿を価値づけ、さらに第Ⅱ期（前期後半）には挨拶できる子を増やしていきたいと思えます。毎月、15日（15日がお休みの日は翌日）の「地域あいさつデー」は、地域の方との挨拶を心がける日です。通学班長は、「地域あいさつデー」の腕章を付けて登校しますので、お忙しい時間帯ではありますが、自宅前あたりで子どもたちと挨拶を交わしていただけると有難いです。地域でも挨拶ができる子を一緒に育てていきたいと思えます。ご協力をよろしくお願いいたします。



「金魚すくい大会」盛り上がりました！

7月1日～7月12日のうち7日間、ミニミニアクアト活動として、六軒シニアクラブと6年生の19名のメンバーで「金魚すくい大会」を開催しました。池の金魚をたらいに入れ、「40秒間」で何匹すくえるか競うゲームです。参加者約370人中、最高は10匹でした。「金魚すくい」初体験の子も居て、興奮が伝わってきました。今年度は、中庭の池での「釣り」に引き続き、「金魚すくい」もすることができ、子どもたちは貴重な体験ができました。子どもたちからは、「楽しい」「うれしい」「また、やりたい」とたくさんの感想が寄せられました。



「新蘇原音頭」の踊りを覚えています！

3年生の「ふるさと学習」では、地域の行事「おまつり」を中心に学んでいます。夏の行事として、「盆踊り」についても学んでいます。その中で、昭和28年に制作された「蘇原音頭」をもとに作られた「新蘇原音頭」をシニアクラブの方に教えていただいています。地域で作られた踊りを自分たちが踊れるようになりたいと頑張っています。



第Ⅰ期は、入学式、授業参観・学年や学級懇談会、運動会、プール学習など、保護者の皆様には、多くのご理解とご協力を賜り、ありがとうございました。明日から長い夏休みに入ります。夏休み明け、子どもたちが元気に登校できますよう引き続き見守っていただきますようお願い申し上げます。